様式１-３

豊田市認証保育所セルフチェック

施設名　　　　　　　　　　　　　　　

◆**職員の資質向上に関する視点**

【保育のポイント】　　　　　　　【具体的な場面】　　　　 【点検結果】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇子どもの声に耳を傾けましょう。 | ・すぐに聞いてあげられない時  は、「ちょっと待ってね」「○○ちゃんの次にお話聞かせてね」と具体的に見通しがもてるような言葉をかけている。  ・「待っていてくれて、ありがとう」と約束を必ず守り、話を聞くようにしている。 | * している * していない * している * していない |
| 〇肯定的な言葉がけをして、子どもたち自身で考え、行動する力を育みましょう。 | ・片付けの場面では、「おもちゃがなくならないようにおうちに戻そうね」「おうちに帰ったね」などと楽しくなるような声かけを工夫している。 | * している * していない |
| 〇優しくあたたかな口調で声をかけましょう。 | ・大きな声で、保育者の指示に従わせるのではなく子どもたちが安心して自ら行動できるような言葉がけを工夫している。  　※感情的、暴力的な言動に  　　よって指示に従わせたり  　　罰を与えたりることは  　　虐待につながります。 | * している * していない |
| 〇子どもの行動、行為の意味を理解し、対応しましょう。 | ・「どうしてそうしたの？」「〇〇したかったんだね」と子どもにどんな思いがあったのか、どんな状況だったのか理由を聞き、思いを受け止めている。  ・子どもたちが見通しをもって行動できるよう、具体的でわかりやすい言葉がけをしている。 | * している * していない * している * していない |
| 〇子どものありのままの姿を受け止めましょう。 | ・大人の価値観を押しつけるのでなく、子どもの気持ちを十分に受け止めている。  ・子どもの自由な発想を認めるかかわりをしている。 | * している * していない * している * していない |
| 〇子どもが自ら動いたり言葉を発したりできる雰囲気をつくりましょう。 | ・保育者の都合で行動や言葉を制限するのではなく、自分で考えて動くことができるように言葉をかけている。  ※不要な一斉の挨拶、行動の強要等をしないこと。 | * している * していない |
| 〇自分の保育を振り返りましょう。 | ・日常の保育の中で言葉がけ、対応を意識している。  　・深呼吸、笑顔、時間に余裕をもつことを意識している。  ・他の子どもたちの前での保育者の悪意ある発言をしていない。  ※子ども同士の「いじめ」  につながることがある。  ・子どもの心を傷つける言葉づかいをしていない。  ※子どもの人格を否定する行為である。  ※他の職員の子どもへのかかわりに疑問を感じたら、一人で抱え込まず園長、主任に相談をする。  　（他の職員等が子どもに対し不適切な指導を行っている状況を放置するという行為は虐待にあたります） | * している * していない * している * していない * している * していない * している * していない |
| 【生活の場面】 | |  |
| 【食事】  〇食事は楽しく食べることが基本です。 | ・家庭と調理員と連携を取り合って　子ども一人一人に合わせた食事の提供に心がけている。(大きさ硬さ等)  ・子ども自身が好む順番で食べる、楽しい雰囲気の環境づくりに努めている。  ・挨拶や歌等を強要しないようにしている。 | * している * していない * している * していない * している * していない |
| 【午睡】  〇ゆったりと安心できるかかわりをしましょう。 | ・体を休めることの大切さを伝え、一人一人の思いに配慮して対応している。  ・布団を頭からかぶせ、寝かせるようなことをしていない。  ※子どもに恐怖心を与え、窒息の危険性がある行為である。 | * している * していない * している * していない |
| 【排泄】  〇排泄のタイミングを図りましょう。 | ・一人一人の排泄のタイミングを見計らって、自分の感覚で排泄を知らせることができるように配慮している。  ・子どもの羞恥心や傷ついた気持ちに配慮し、トイレ等の人目につかない場所、「着替えをしたら気持ちよくなるからね」等声をかけて対応している。 | * している * していない * している * していない |
| 【身の回り】  〇子どもに尋ねて、同意を得てから対応しましょう。 | ・着替え、鼻をふく、抱き上げる等で、「見てもいい」「ズボンおろしていい」等と言葉をかけてから対応している。 | * している * していない |
| 【その他】  〇家庭の状況や環境を理解し、子どもの気持ちに配慮した声かけをしましょう。  〇一人一人の違いを認め、かかわりましょう。  〇常に保護者と密接な連絡をとり、理解及び協力を得られるようにしましょう。 | ・子どもに対して「おかあさん、いつも遅いね」「いつも忘れているね」等、保護者を否定するような声かけをしていない。  ・休日の過ごし方や家庭の様子について、子どもの話を聞くとき「どこに行ったの？」「何を食べた？」等聞き方や聞くタイミングに配慮している。  ・障がいの有無、性別、国籍や人種等を理由に「男の子は泣かないの」「どうして早くできないの？」等、差別的なかかわりをしていない。  ・園の様子を丁寧に伝える、ケガ・病気の対応等保護者の理解を得ている。 | * している * していない * している * していない * している * していない * している * していない |
| 【課題・改善が必要と考えられること】 | | |

参考資料「人権擁護のためのセルフチェックリスト」

**◆0～2歳児　事故予防の視点**

０～２歳児について点検し、該当する場合は「点検結果」に〇を記入してください。

**点検項目**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 点検項目 | 点検  結果 |
| 【施設】 | | |
| １ | 子どもの周囲に危険なものがないかを必ず確認し、片付けている。 |  |
| 2 | 室内外で角や鋭い部分にはガードがしてある。 |  |
| 3 | ロッカーや棚は倒れないよう転倒防止策を講じている。 |  |
| 4 | ドアの開閉部分に、子どもの指が入らないよう対策している。 |  |
| 5 | 床の状態(損傷・凹凸・硬さ等)は適切かどうか確認している。 |  |
| 6 | 子どもが、暖房器具の近くに行かないように囲いをしている。 |  |
| 7 | 子どもが触れる位置のコンセントにキャップをしている。 |  |
| 8 | ネジや玩具の破片など誤飲の原因となるものが落ちていないか確認している。 |  |
| 9 | 扉や窓に不具合や破損はないか、開閉がスムーズに出来るか、点検している。 |  |
| 10 | 雨の後等、テラスや園庭の固定遊具が濡れて滑りやすくなっていないか確認している。 |  |
| 【環境】 | | |
| 11 | ベビーベッドの柵とマットレス、敷き布団の間に隙間のないことを確認している。また使用時は柵を必ず上げ、ものを柵にかけないようにしている。(おもに0歳児) |  |
| 12 | 子どもの上に、物が落ちてこないよう安全を確認している。(花瓶にはガラス、陶器等は避ける)また重いものを置かないよう配慮している。 |  |
| 13 | 園庭で使用する玩具に損傷や不具合がないか確認し、危険な物は片付けている。 |  |
| 14 | 本の破損がないか点検している。（破損がある場合には補修する等して、子どもが容易にページを破り取って口に入れられないようにしている） |  |
| 15 | 室内の換気・温度・湿度は適切か測定している。(目安室温夏季：冷房26～２８℃冬季：暖房２０～２３℃　　湿度　50～60％) |  |
| 16 | ビニール袋、紙、紐等は、子どもの手の届かない所にしまってある。 |  |
| 17 | 口の中に入ってしまう小さなおもちゃ（目安：トイレットペーパーの芯を通る大きさ）を手の届くところに置かない。 |  |
| 18 | 室内を清潔に保ち衛生面に気をつけている。また整理整頓に努めている。 |  |
| 19 | ドアを開閉する時、近くの子どもの位置に配慮している。引き出しは開け閉めできないようガードしている。 |  |
| 20 | ハサミやカッターなどの刃物の保管管理に配慮している。 |  |
| 21 | 床が濡れたらすぐに拭き取るようにしている。 |  |
| 【生活】 | | |
| 22 | 家庭での健康上の様子を知り、視診をしながら、健康チェックをしている。 |  |
| 23 | 職員は感染防止のため手洗いを充分に行っている。 |  |
| 24 | 子どもの遊んでいる位置や人数を常に確認している。(園内・園外) |  |
| 25 | 子どもを抱いているとき、安全に配慮している。 |  |
| 26 | 保育室から玄関や階段等に、子どもが一人で行かないよう配慮している。 |  |
| 27 | 階段を上り下りするときは、子どもの下側を歩くか、手をつないでいる。 |  |
| 28 | 子どもの腕を引っ張らず、誘うときは声掛けをしている。 |  |
| 29 | 家庭事情、健康面等、配慮を要する子どもの情報を全職員が把握している。 |  |
| 30 | 常に保護者との連絡手段を確保している。 |  |
| 31 | ミルクを飲ませた後は、ゲップをさせてから寝かせる。 |  |
| 32 | 食事の際、誤飲のないよう量、大きさ、硬さ等に配慮し対応している。 |  |
| 33 | 熱中症に配慮し水分補給はこまめに行っている。 |  |
| 34 | 子どもの睡眠時、部屋の明るさをある程度確保し、SIDSチェック（子どもの体位＜うつ伏せでないこと＞、呼吸、顔色）を最低１５分ごとに行っている。 |  |
| 35 | よだれかけを外してから、子どもを寝かせている。 |  |
| 36 | 敷き布団は、固めのものを使用している。掛布団は顔にかからないよう配慮している。 |  |
| 37 | オムツの取替えなどで、子どもから離れることはない。 |  |
| 38 | 子どもが自分でトイレを使用する時は、手助けや見守りをしている。 |  |
| 39 | 子どもの足にあっている靴か、身体にあったサイズの衣類か、ボタン、装飾品など口に入りやすいものがないか確認している。 |  |
| 【遊び】 | | |
| 40 | 沐浴やシャワー中の子どもから離れず、注意して見守っている。事前に温度確認をしている。 |  |
| 41 | つかまり立ちをしたり、つたい歩きをし始めたり不安定なとき、近くで注意して見守っている。 |  |
| 42 | 口に物をくわえて歩かないように注意して見守っている。 |  |
| 43 | 段差のあるところを子どもが歩くときは、安全に配慮している。 |  |
| 44 | 園で使用するベビー用品は、子どもの年齢や使用目的にあったものを選び、取り扱い説明書をよく読んでいる。 |  |
| 45 | 固定遊具を使用する時は、近くで注意して付いている。 |  |
| 46 | おもちゃを持ったり、カバン等をかけたりしたまま、固定遊具で遊ばせることはない。 |  |
| 47 | 遊具の正しい遊び方を知らせ、危険な遊びをしないように確認している。 |  |
| 48 | 紐状のものを首にかけないよう注意している。 |  |
| 49 | 砂を口に入れたり、目に入ったりすることがないよう気をつけている。 |  |
| 50 | 砂場では砂の衛生状態や量、周りの枠について注意・点検している。 |  |
| 51 | ウサギなどの小動物と遊ぶ時は、そばについて怪我をしないように気をつけている。 |  |
| 52 | バケツや子ども用プールに、水をためて放置することはない。 |  |
| 53 | 水遊びをする時は、必ず保育者が付き添い、ケガや事故のないよう十分注意している。 |  |
| 54 | 散歩に出かける際は、必ず下見をし、安全に十分気をつけている。 |  |
| 55 | 避難散歩車を使用する時は、きちんとつかまって立ち、手や身体を乗り出さないよう注意している。 |  |
| 56 | 散歩の際、道路に、子どもが飛び出さないよう十分注意している。 |  |
| **【課題・改善が必要と考えられること】** | | |

参考資料「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」